

きゅうしょくだより

令和8年 3月 No. 11
唐津市東部学校給食センター

寒さが和らぎ、春の訪れを感じる3月となりました。この一年間、給食は子どもたちの成長を支える大切な時間として、毎日の学校生活に寄り添ってきました。卒業や進級を控え、生活リズムが変わる時期でもありますが、規則正しい食事を心がけ、心も体も健やかに新しい学年を迎えてほしいと思います。

1年間のふりかえりチェック

給食の時間を振り返って、できたものには□にチェックをいれましょう。

協力して給食の準備をすることができた



1人分の量をきれいに盛りつけた



楽しく会食することができた



バランスのよい食事のとり方がわかった



地域の地場産物がわかった



感謝の気持ちを持って食べることができた



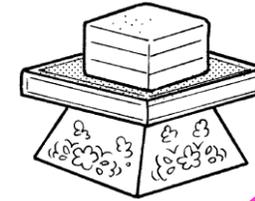
3月3日はひなまつり

「桃の節句」とも言われます。ひな人形を飾る風習は、室町時代頃に始まり、一般に広まったのは、明治時代以降といわれています。それまでは、厄をはらうための紙の人形だったといわれています。桃の節句につくられる行事食には、はまぐりのお吸い物（うしお汁）やひしもち、ちらしずしなどがあります。



ひしもち

ひしもちは、緑、白、赤で重ねられたひし形のお餅です。色にはそれぞれ意味があり、赤は魔除、白は子宝、緑は健康を意味しているといわれています。また、白い雪の下に新芽が芽吹き、上には桃の花が咲いているという春の風景を見立てているとも言われています。



うしお汁

はまぐりは、対になっている2枚の貝殻同士だけがぴったりと合います。そのことから、夫婦の仲のよさをあらわすとされています。また、磯遊び（海辺や河原に集まり、草もちや貝料理を食べること）の時期ことから料理に使われたともいわれています。



6年間または9年間食べた学校給食には、どんな思い出があるでしょうか。今月が最後の給食になる人も多いと思います。これからは、自分自身で食べるものを選んだり料理したりする機会が増えていきますね。楽しく、充実した生活を送るために、健康はとても大切です。食事ができることに感謝して、自分の健康を守るような食事をしてくださいね。応援しています。

3月23日（月）で今年度の給食が終了します。1年間、学校給食の取り組みに深いご理解とご協力いただきましてありがとうございました。来年度も、どうぞよろしくお願いたします。

